

学校名 加須市立樋遣川小学校
所在地 加須市下樋遣川427
電話 0480-68-5770

1 本校の概要

加須市は埼玉県北東部に位置し、県内の市町村で唯一、北関東の群馬・茨城・栃木の3県全てに隣接している。本校は通常学級6、特別支援学級2、児童数111名の小規模校である。今年度の校内研究テーマを「読解力・表現力を育む国語科の授業づくり」とし、家庭と連携した読書活動にも力を入れている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- イ 地域図書館や図書館司書などを活用した取組

(2) 実践の概要

- ア 校内における年間読書冊数達成への取組

今年度の校内読書冊数を

全校50冊と設定し、学期

毎の冊数を達成すると、「読

書の木」にシールを貼れる取

組を実施した。2学期現在で

59%の児童が年間読書冊数を達成している。



読書の木

- イ 本のクイズコーナーの設置



クイズコーナー

本に関するクイズを児童一人一人が考え、クラス毎に廊下の掲示コーナーに掲示した。紹介された本を読み、先生に伝えると秘密の宝石シールがもらえ、掲示コーナーにある宝箱に貼ることができる。本は学校図書館又は教室で探し、熟読しなければならない。

- ウ 校内読書週間の取組

- ① 家読（うちどく）を各家庭で実施していただいた。目標時間は読書週間期間中に60分とし、実施方法は読み聞かせ・同じ本と一緒に・同じ部屋でのいずれかで行い、記録用紙への記録をお願いした。第2学期の校内家読平均時間は75分と目標を達成し、家庭からの理解も得ている。
- ② 読書ビンゴ用紙を配布し、様々な分類の本に触

れる機会になるよう実施した。1・2年生は5ビンゴ、3～6年生は3ビンゴを達成した児童には、図書委員特製のしおりのプレゼントを行った。

- ③ 図書委員の児童による図書集会を行った。学校図書館や教室の本の借り方や返し方、本の見つけ方、新しい本の紹介など、クイズを取り入れながら楽しく本についての知識を深められる時間となるよう工夫した。



図書集会

- エ お話会「たんぼぼ」による読み聞かせ

年間4回ボランティアによる本の読み聞かせを行い、本との出会いの機会を増やし、本への親しみの気持ちを育てている。



読み聞かせ

- オ コロナ禍における読書環境の整備

パーテーションを各テーブルに設置し、その場を本の紹介コーナーとして、本を提示した。

- カ 加須図書館との連携

- ① 毎月の本の貸出しを行ってもらうことで、学習状況に合った本や教科書に載っている本を教室に整備し、本を身近に感じられるよう工夫した。
- ② 加須図書館の司書を招いて、6年生児童を対象に、国語教材「やまなし」の導入として宮沢賢治のブックトークを行った。その後、並行読書を行い、最終的には宮沢賢治の作品を本校6年生児童が同じ中学校区の大越小学校の児童に対しオンラインでブックトークを行った。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 読書に興味をもつ児童が増えた。各家庭においての読書への関心も高まってきている。
- イ 様々な取組を通して、児童の読書量が増えた。

(2) 課題

- ア 個人の読書量に差がある。個人の読書量の充実や読書の幅を広げられるように力を入れていく。
- イ 全校での活動を意識的に行うとともに、読書の質の向上に努める。